

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-2-1		事業名	子ども体力向上事業				
担当	観光文化局スポーツ部企画事業課調査担当 渡邊						211-3044	
全体計画								
事業内容	子どもの体力・運動能力の低下が指摘されていることから、以下の事業を実施する。 運動プログラムの開発 公園などにおける野外運動教室のプログラム開発及び室内等における運動教室のプログラム開発を教育機関、関係団体と連携して作成する。 運動教室の実施 小学校の体育館、グラウンド、公園、公共施設などを利用し、市民が身近に参加できる場所で遊びとスポーツの要素を含んだ様々な種類の運動教室を実施する。 指導者の養成 運動教室事業の拡大を図るために、運動生理学の視点を持ち、体を動かす楽しさを子どもと接しながら伝えることができる指導者の養成を行う。 保護者向けの啓発 保護者に対して、子どもの体力向上の重要性を啓発するために保護者説明会や小冊子の発行、講演会などを実施する。 学校教育との連携 学校教育との連携により子どもの体力向上を図るために、学校教員との共同勉強会や意見交換会などを行う。			<年度別の事業内容>				
				平成19年度(補助金) ・運動教室実施・レクリエーション用具購入・指導者養成プログラム修正・指導者養成・啓発用品購入 平成20年度(補助金) ・運動教室実施・レクリエーション用具購入・指導者養成・啓発用品、消耗品等購入 平成21年度(補助金) ・運動教室実施・レクリエーション用具購入・指導者養成・啓発用品、消耗品等購入 平成22年度(補助金) ・運動教室実施・レクリエーション用具購入・指導者養成・啓発用品、消耗品等購入				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	財団法人さっぽろ健康スポーツ財団が実施した以下の事業に対し補助金を支出した。 運動プログラムの開発 遊びを中心とした室内における運動プログラムの開発を行った。 教室の実施 札幌市内2区体育館(厚別区・東区)において運動教室「げんきキッズ教室」を実施した。 指導者の養成 指導者養成カリキュラムを作成し、それに基づいて指導者の養成を行った。 保護者向けの啓発 「げんきキッズ教室」受講の保護者に対して保護者説明会を実施した。 学校教育との連携 市内小学校において体育の授業視察を行い、その後意見交換会を行った。			財団法人さっぽろ健康スポーツ財団が実施する以下の事業に対して補助金を支出する。 運動プログラムの開発 遊びを中心とした室内及び屋外における運動プログラムの開発を行う。 教室の実施 札幌市内6区体育館(厚別区・東区・中央区・北区・西区・清田区)において運動教室「げんきキッズ教室」を実施する。また、学校体育館において運動教室を実施する。 指導者の養成 指導者養成カリキュラムに基づき、前期と後期の2度に分けて指導者の養成を行う。 保護者向けの啓発 体力向上の重要性を啓発する資料を作成し、保護者説明会などを行う。 学校教育との連携 学校教員と運動教室指導員の授業参観交流を行い、意見の交流を行う。				
達成目標の状況								
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
運動教室数			モデル 2教室	10教室	40教室	70教室	100教室	全市で 100教室
指導者の養成数(累計)			5人養成中	4人	20人	35人	50人	50人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
市民との連携、市民参加 運動教室受講の保護者に事後アンケートを実施し、教室の効果や今後の教室内容の向上に役立てている。								
企業等との連携・協働 [資金協力]該当なし [人材協力]運動教室の指導及び指導者の養成のために関係各団体から協力を得ている。 [情報協力]大学等の教育機関から子どもの体力向上のための情報提供を得ている。 [その他の協力]大学等の教育機関に運動プログラムの分析・検証等の協力を得ている。								
市民・企業等が参加しやすい環境づくり アンケート等を生かして市民のニーズや意見を取り入れ参加しやすい環境づくりにつとめている。								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-2-1		事業名	子ども体力向上事業			
評価(成果)			課題				
<p>運動プログラムの開発 運動教室の際に運動能力測定を行い、プログラムの実施効果を大学において分析・検証し、有効性が確認された。よって運動能力の向上に有効なプログラムの開発をすることができた。</p> <p>教室の実施 平成18年度1区体育館2教室実施から、平成19年度2区体育館10教室に拡大して実施することができた。</p> <p>指導者の養成 指導者養成カリキュラムを完成することができ、それに基づいて指導者4名を養成することができた。</p> <p>保護者向けの啓発 げんきキッズ教室受講の保護者に対して説明会を実施し、体力向上の重要性を啓発することができた。</p> <p>学校教育との連携 指導者養成カリキュラムの中に「小学校授業視察」を位置付け、市内小学校において体育の授業視察を行い、その後、意見交換会をすることができた。</p>			<p>運動プログラムの開発 開発したプログラムを運動能力ごとに分類してまとめ、どの指導者でも指導可能な形にする。また、屋外でのプログラムの開発を行う。</p> <p>運動教室の実施 市内10区体育館に拡大して運動教室を実施する。また学校体育館などの身近な場所においても運動教室を実施する。</p> <p>指導者の養成 養成の対象となる指導者を安定して確保するために、大学や専門学校などとの連携の可能性を探る。</p> <p>保護者向けの啓発 保護者向けに広く体力向上の重要性を啓発するための方法(ホームページ活用等)を探る。</p> <p>学校教育との連携 子どもの体力向上のために学校教員と運動教室指導員との意見交換会等を行って、学校教育と連携して行えることを探る。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>子どもの体力向上を図るため、運動教室の拡大や、発達段階に合わせた運動プログラムの開発、指導者の養成を行う事業に対して補助を行ってきた。今後はこれまでの取り組みに加えて、子どもたちが様々なスポーツの楽しさを味わう機会を提供するような「スポーツのライフスタイル化」を目指した新たな取り組みについて検討を進める。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	5,000	6,000	6,000	6,000	23,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,000	6,000	6,000	6,000	23,000
予算	事業費	5,000	6,000	-	-	11,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	5,000	6,000			11,000
実績	事業費	5,000	-	-	-	5,000	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	5,000				5,000
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				47.8%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							